

国際ロータリー第2580地区
石垣ロータリークラブ週報

2024年(令和6年) 9月 4日(水) 第6回例会(通算3023回)



2024-25年度RI会長テーマ
RI会長:ステファニー・アーチック

2024-25年度 ◆クラブ会長テーマ◆
「親睦と友愛の絆で広げる奉仕」

会長:宮城早人 副会長:今西敦之
幹事:新里裕樹 直前会長:前原博一
副幹事:木下省三 会場監督(SAA)委員長:黒島勝

◎基本的教育と識字率向上月間

◎ロータリー友の月間

今月のロータリーレート 1\$¥

石川 彌八郎 地区ガバナー

テーマ:隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に

会員職場紹介



石垣島製糖株式会社

製糖業

NISHIMURA TSUYOSHI

公役者委員会

西村 剛志



石垣島製糖株式会社は、美しく豊かな自然とさとうきびに囲まれた名蔵地域に所在しております。さとうきびは石垣島の地域経済を支える重要な産業を担っており、弊社は「糖業立島」「農家と共に歩む」の企業理念のもと、さとうきび生産農家が丹精込めて栽培したさとうきびを大切に粗糖に製造しております。



(株)八重山毎日新聞社は1951年3月15日に創刊され、今年74周年を迎えました。創業者の村山秀雄は、「精神の食糧」とであるという信念のもとに発刊されたが、台所事情は厳しく幾多の困難を乗り越え今日を迎えた。弊社のスローガン「視野は世界 視点は郷土」をモットーに、ローカル色あふれる紙面展開と地元の企業や郷土の発展に寄与しています。近年はインターネットなどが急速に進み、紙媒体の新聞社は厳しさを増していますが、「不偏不党」社の方針を貫き新聞づくりに情熱を傾注したい。

社会奉仕委員会



視野は世界 視点は郷土
八重山毎日新聞

新聞業

KAKIMOTO TOKUICHI

垣本 徳一



9月のプログラム 9/4(水)通常例会 9/11(水)通常例会 9/18(水)→9/21(土)移動例会(ビーチクリーン)

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

◇総会員数：56名（正会員54名・名誉会員2名・出席免除会員2名）

◇出席義務会員数：52名 ◇出席人数：31名 欠席人数：21名 出席率：59.62%

《司会進行：黒島 勝・村松 秀規》

◇ロータリーソング：それでこそロータリー 手に手つないで

◇ソングリーダー：櫻井 浩一

◇メークアップ：垣本 徳一 森田 安高

■会長挨拶■ 宮城 早人



皆さんこんにちは。8月も終わります。皆様いかがお過ごしでしたでしょうか？新会長年度が始まり、台風による休会や旧盆の休み等もありましたので、8月は2回目のこの例会で終わりということになります。8月は思い返すに世間ではパリ・オリンピックや高校野球などで沸いていましたが、終わることとなり、いわゆる夏の風物詩が去っていき、季節は秋に向かって行きます。市内の小中学校も今日から2学期が始まりました。台風も今まで例が少ない進路をたどり日本本州縦断で超大型台風が向かっています。沖縄では強い台風、ある意味慣れてはいますが、本州では河川なども多くエネルギーがまとまることで被害が甚大になることが考えられます。被害が少なくなることを祈るばかりです。

8月も今日を含めあと4日ですが、「戦争と平和」についても思いをはせる月でした。8月のテレビ番組などでは、太平洋戦争でのサイパン島の陥落、特攻隊、広島・長崎の原爆、沖縄対馬丸の撃沈の話等々、枚挙にいとまがない程の報道がされていました。子供たちも興味を示して見ていました。決して「戦争の悲惨さには目をそむけてはいけない、もっと思いをはせないといけない」と強く感じました。また、WHOからロータリアンにとって耳の痛い話として、ポリオ・小児麻痺がガザ地区の子供で流行っているというニュースがありました。10月24日は世界ポリオデーですが、RIからも何らかの動きがあると思います。

さて、去った8月12日(月)・13日(火)にイタリアのミラノロータリークラブの2011-12年会長であられ、現在はミラノ地区の公共広報委員会委員長であられる、グラジエラ・ガレアッソ(Graziella Galeasso)さんと娘アレ(Ale)さんに会長の私と幹事の新里君と共に滞在先のクラブメッド川平に出向きお会いしてきました。当初女性のロータリアンと知らずにロビーで声をかけられたときはびっくりしました。心配していたコミュニケーションも私の拙い英語と娘アレさんとで英語で話し、詳しい話になるとスマホの翻訳機のアプリを新里幹事が用意万端にしていたので、日本語でスマホに向けて話す⇒イタリア語に変換された文字を見せる⇒又はイタリア語の音声ボタンでイタリア語が流

れる、といった具合にスムーズに割と深い話までできました。人類にとってこれほど便利なツールはないなーと双方で感心しきりでした。

ガレアッソお母さんと娘アレさんの話によると、今回の沖縄石垣の滞在で日本は6回目、過去には東京、京都、奈良、箱根、大阪などにも行かれたそうで、今回の沖縄石垣島はとても気に入ってまた来たいという話でした。また、イタリアはカトリック中心ですが、宗教というより哲学的に道教に興味があり、石垣では桃林寺に興味がありますと調べておられました。当クラブ小林会員もいることを伝えると、今回は時間がないので次回またということでした。翌8月13日も市内730交差点付近のカフェに待ち合わせをしてお話ししましたが、詳細は別の機会にお話したいと思いますが、ガレアッソさんがミラノ地区の情報広報委員長ということもあって、是非週報などをメールでも送ってください、そして皆さんの写真なども送ってくださいとのことでした。また、来年の大阪万博に多くのメンバーが日本に行く予定なので、是非大阪で石垣クラブの皆様ともお会いして、その後多くのメンバーで石垣クラブに訪問したいとのこと、また、2026年には冬季オリンピックがイタリアミラノであるので、是非来てくださいとのことでした。私はロータリアンになってこのかた、国際的なつながりといえはせいぜい台湾のロータリアンとのお付き合いしかなかったのですが、ヨーロッパのイタリアミラノのロータリアンとつながることができてとても嬉しかったです。この縁をどんどん温め深めながら、次年度の今西会長に引き継ぎ、もし、大阪の万博などで交流ができれば、結びつきも強まりもっとお近づきなれると思いました。国際ロータリーは200以上の国と地域に約4万8千クラブあり、約135万人のロータリアンが世界中で日夜活躍しています。皆さん、もしほんとにこういうつながりができたらいいと思いませんか？しっかり手を取り合って広げていきましょう。

そして、今日こちらの週報の会員職場紹介に新川正人社長の八重山港運(株)さんが載っております。そして、アートホテルの村松支配人も載っています。いわずもがな両社とも沖縄全体そして八重山のために日本中の世界中のために、物流のこととか宿泊のこととか観光のこととか、とてもご活躍になっておられます。両社の益々のご発展を心より願っております。そして、会員企業のトピックとしては請福酒造、さんと石垣島精糖さんが漢那社長、西村社長とてもいい笑顔で新聞に載っていました。コラボでいいお酒をお造りになられているとのことで、まだ飲んでいませんが、

早めに試したいです。ご活躍を心より願っております。

今日は当クラブでの会員歴が最も長い中のお一人であられる上勢頭保パスト会長の卓話をいただくことになりました。「私とヨット」といういかにもハードボイルドなタイトルです。これまで当クラブへのご貢献は計り知れない上勢頭パスト会長のお話を楽しみにしております。どうぞ宜しくお願いします。

また、クラブテーマ「親睦と友愛の絆で広げる奉仕」に則って、本日より親睦と友愛を強調した素晴らしいロータリーソング「それでこそロータリー」を歌いましたが、皆様で覚えていただき口ずさんでいただけるぐらいになって欲しいです。それでは今日も楽しみましょう。宜しくお願いします。

■ 幹事報告・挨拶:新里 裕樹 ■

本日の幹事報告は2点でございます。

1).コザ RC から「今昔物語」歴史と文化のコレクション展、基金チャリティーを目的で開催しております。Slack へも事務局からご案内があったと思いますが、日時が、今日と明日の2日間です。出張で行かれる方がいらっしゃいましたら、是非足を運んでいただければと思います。場所は、オキナワグランメルリゾート(沖縄市与座 2-8-1)ご興味のある方は詳細をお知らせ致しますので、お申し付けください。

2).”ロータリーのマジック”の体験談を「ロータリーの友」で募集しております。

例えば、「奉仕活動によって、原っぱだったところに小学校が建った」・「ビーチクリーン活動で、ゴミだらけの浜辺が見違えるように綺麗になった」等、マジックのような奉仕活動に出会った方がいらっしゃいましたら、教えていただきましたら、報告したいと思います。

また、上勢頭さんの「私とヨット」の卓話も大変楽しみにしております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◆ 会員卓話：上勢頭 保 氏 ◆

テーマ:私とヨット

皆さんこんにちは。今日は『私とヨット』というテーマで卓話をさせていただきます。私の仕事は一言で言うところやですね(笑)。島で生きるために必要だと思えば何でも事業にしてきました。今の本業は沖縄国際コンテナターミナル内での通関関係業務と、石垣で積荷業務、通関と石材販売、それから上海を起点にして、那覇、台湾、ベトナム間の定期貨物コンテナ船の運航管理をさせていただいております。これまで、保は遭難したか！と言われた大航海を幾度も経験してきました。そのなかではヨットの経験はそんなに多くはありません。初めてレースに出たのは、韓国と福岡を結ぶアリランレースで、友達に誘われ乗船しました。このレースは去年までは中止になっていましたが、今は再開しております。

皆さんの手元に今回のヨットレースの資料を用意しており

ます。今年度、第20回を迎えた台湾と琉球を結ぶ友好親善国際ヨットレースです。現在日本側は、八重山と宮古島が隔年ごとにホストとなりレースを行ってきております。国際レースにおいて重要なのは2枚目の「レース公示」です。今は公示を出しますと世界中にネットで流れます。それを見てセーラーたちが申込みをしてくるわけです。今回は韓国から初めて参加がありました。いつもは台湾、マレーシア、シンガポール、香港などから参加があります。今回は当初、香港チームが台湾問題で中国政府からのストップがかかり出場出来ないとの連絡がありました。しかし海で繋がった隣人、出場こそ友情の証ではないかというようなことで、結局5艇ほど香港からも参加をして頂きました。国内では関西から2艇と宮古島から1艇、那覇から1艇と石垣から私の1艇で、合計32艇が揃いました。

我々のヨット倶楽部は、日本セーリング連盟に加盟しております。これに加盟することで、レース専用の保険をかけることも出来、安全が担保されます。また競技の規則、内容等、それら全てをきちっとした形で準備しなければ国際レースとしての認証を受けることが出来ませんので、連盟の指導のもと、それらをクリアして公示を作成し募集をします。

今回は、6月20日に石垣を出港して21日に基隆に到着しました。23日から第1レースが始まります。基隆港近くの基隆島で一周レースを行います。それから24日は第2レース。いよいよ基隆港沖から石垣港沖までの一昼夜かけての国際レースです。来年は到着が宮古島になります。二昼夜かかります。

レースの順位は、船の種類や大きさをランク分けします。レース艇か、クルージング艇かで分け、部門ごとにランク分けします。出場艇には、GPS、衛星電話、救命艇等の搭載が義務付けられております。途中ロールコールといって、決められた北緯と東経に来た時にGPSの写真の撮って衛星電話で本部に連絡します。前回からトラック・トラッカーも各艇に付けさせています。これは常時衛星とつながっており、本部でこの船が今どこの地点にいるんだということを正確に把握することが出来るようになりました。安全精度は毎年高まってきております。台湾から石垣島まで約270km、台湾-宮古間は350kmのコースの距離になります。

私は2015年から初めて参加を致しました。その時の写真であります。世界一周をやって来た前田君の船に乗せてもらって一緒に航海しました。その時の名蔵湾レースです。この写真は、私の会社、南西観光の50名乗りのカタマランヨットです。毎年のように「海の日」に子供たちを乗せてセーリング体験をさせております。この写真で元気に写っているのは喫茶海坊主の平得君です。

これは2017年に石垣RCで卓話をしてもらった海部先生ですけれども、3万年前の航海を再現したいと、八重山ヨ

ット倶楽部に協力をお願いが来ましたので、結局 5 年間お手伝いさせて頂きました。「自分でも黒潮超えてみたら」と私が提案、先生のレース参加が実現しました。実はこの時は凄い大雨に降られ寒くて「自分は低体温症で死ぬんじゃないかと思った」というような経験をされました。そんな自らの経験の上に立ち、試行錯誤の結果、台湾から与那国まで丸木舟で男女 5 人 45 時間かけて見事到達、成功させ、与那国の最西端の場所に記念碑が立っております。これは東京オリンピックを成功させよう！ということで、石垣からスタートし全国のヨット倶楽部へ寄せ書きのフラッグを回しました。これは離島ターミナルの前でクルーの皆さんと一緒に撮影したものです。私と大野さんが一番年寄りで、他の外国船は若いクルーで賑やかな状況でありました。この写真は 6 月 20 日に出港する時、八重山毎日新聞社に取材してもらい掲載して頂きました。この写真は、第 1 レース、第 2 レース、第 3 レースの状況です。この青い帆はレース用です。凄く軽くて大きくて、より早く船を走らすための帆になります。この写真は 21 日の台湾近くでの朝日です。最初は天気も良くていい状況でありましたが、途中で与那国近くで、GPS は壊れるは、それから自動操舵は壊れるはで、もうえらい目に合いました。久しぶりに天測を使いました。この写真は台湾に着いたところです。これが私のヨットですが、実は台湾近くでメインセイルを吊っているワイヤーも切れ、ジブセイルだけで入港しました。怪我人が出なかったことだけが幸いでした。でもメインセイルのワイヤーだけでも直さないと国際レースには出れません。少し早めに着いていましたがドキドキでしたが、台湾の職人が間に合わせてくれました。

友好親善レースですから、まずウェルカムパーティがあります。このように海洋警察も行政も、みんな一緒に台湾あげての歓迎会をしてくれます。台湾の歓迎は、八重山では真似のできないような賑やかさです。夜店も出て、今回は請福と八重泉のお酒も出て、住民の方も大勢来て楽しんでおりました。ここが歓迎のメイン会場です。御馳走も芸能も食べきれないほど出て歓迎をして頂きました。この写真は、前に見える島が基隆島で、一周レースの様子です。国際ヨットレースの始まりです。これは最初のうち横を走っていたヨットです。

石垣に向け航海します。一昼夜ですので、また夕陽と朝陽を海の上で見ます。

これは石垣に着いた時に税関の手続きで入国検査の時のものです。「本当に他のところ寄ってないよね、その証拠に GPS を見せなさい」というふうに指示をされるんですが、GPS が壊れて天測で走って来たとスイッチを入れて見せると、「なるほど壊れているなあ、よく今ごろ天測出来る人がいるなあ」と感心されました。

これは石垣港でのウェルカムパーティです。市長が大会会長、私が副会長でしたので、盛大にウェルカムパーティ

もしました。大野さんの家族も来ておりました。これは名蔵湾レースの様子です。表彰式・交流会は、ホテルみやひらで行いました。皆さんから寄付や商品などの提供を受けて友好親善ヨットレースは成り立っております。特に大濱達也さんからは大金を寄付して頂き、JTA の黒島支社長や全日空の木下支社長、ユエグレナからも沢山の商品頂きました。この日は、与那国久枝舞踊研究所が海に関する踊りで歓迎してくれました。ヘリオス酒造からも 50 ケースのビールを寄贈して頂き、腹一杯外国の皆さんにも飲ませることが出来てホットしました。ありがとうございました。

【私と海と風と船の歴史】24 歳の時、私は八重山に帰ってきました。中学卒業以来です。当時の竹富島の周辺にはまだ昔のように 2~3m の枝珊瑚がありました。私は小学校 4 年生から中学卒業するまで、議員をやっていた親父の代わりに、米作りに竹富島の西の桟橋から由布島まで帆掛けサバニで行かされていました。由布島には私のような生徒のために竹富の分校がありました。

復帰で大阪から帰島する時に南西観光株式会社を設立しました。石垣・竹富間の航路権を申請して航路を開設しました。竹富島と石垣島を結ぶスクール船を開始したので、通勤、通学が出来るようになりました。うちの伯父が町長の時、八重山観光フェリーが設立されると初代社長となり、君の航路権が邪魔だ、竹富丸を造りたいので君の航路権を譲渡してくれ、と言われたので無償譲渡をしました。

私は大阪時代にサイパンで漁業や観光事業もやっておりました。近畿日本ツーリストと組みサンセットクルージングや海遊びをしておりましたので、八重山でも本格的に海遊びをさせたくなり、サイパンでカタマランヨットを作って、サイパン、グアム、石垣と、シングルハンド、私一人で 27 日かかって航海してきました。あの時は六分儀しかありませんので、六分儀とトランジスタラジオ、コンパスを使い、何度に何時間走ったという記録を海図に記しながら竹富島に帰ってきました。これがそのタイマイ 7 世です。カタマランヨットでは、実は前方のネットの上が特等席です。風が噴き上がってきて子供たちは大喜びです。また障害者の方を招待して、ヨットクルージングしながら釣り体験もさせるという奉仕活動もしてきました。最初のヨットの帆の色は鮮やかなオレンジ色でした。台風で一度マストも壊れ、修理後の帆は白になりました。この写真は舟蔵の里のカフェの壁面に今も飾ってあります。当時はカタマランヨットを基地にして、ジェットスキーやダイビング、シュノーケリングをして客を楽しませていました。

【世界のヨットハーバー】私は、世界のいろんな国々を回ったら、必ず港に寄ります。海運業の状況調査もあるのですが、ヨットハーバーも必ず見に行きます。ヨットハーバーには夢があります。こちらはスイスのレマン湖です。こちらはノルウェー、どこもきちっとしたヨットハーバーが整備さ

れております。スウェーデンのヨットハーバーには、もの凄い数のヨットがありました。デンマークは隣に大型のクルーズ船も入っておりました。石垣港は未だにヨットハーバーがないのが非常に残念です。機会ある度に市長にヨットハーバーを作ってくださいと要請をしているところです。

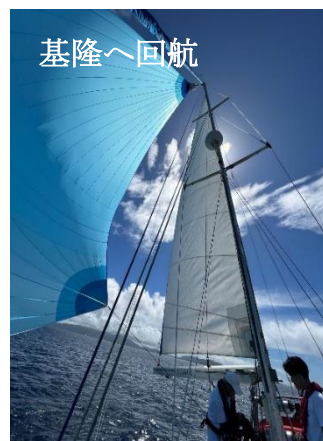
人頭税時代、八重山では税金を納めるためにサバニで那覇まであがって、またサバニで竹富島まで帰ってきたという歴史があります。カーチバイ(夏至南風)に運んでもらい、9月の頭ぐらいから吹くミーニシ(新北風)で八重山に帰ってくるのです。サバニは風の力で進みます。昔の琉球の進貢船は、福建省と交易しておりました。琉球館を拠点に、そこから北京まで陸路歩いて交易をしたり、また船で、インド洋まで航海し交易しました。黒潮は2ノットから3ノットの速さで北へ流しておりますが、黒潮の端っこには南への逆流があります。その逆流を探しながら航海する技術が進貢船にはありました。琉球館には航海日誌が残っております。

海洋民族琉球人、特に海に囲まれた八重山に不足しているのは、海の博物館だと思います。

世界には海の博物館がたくさんありますが、これまでに行った中で面白かったのは、デンマークのバイキングのミュージアムです。当時の船の遺構が、海が見える部屋で展示されております。これは帆を織るための素材です。これはバイキングが船に乗る時の服です。実物大の船の部屋も再現されており私も体験しました。これで世界の海を駆け回っていたわけです。屋外にも様々な体験ができるようなところが用意されております。びっくりしたのは、船大工がちゃんとした正職員として雇われていて、使える船をきちっと作って販売をしているということでした。ただ体験させるのではなく、技術継承の仕組みも考えられておりました。

以上で私の航海の経験とヨットとの関わりの一部を、駆け足で説明させていただきました。

ご清聴ありがとうございました。



障害者の方を招待して、
ヨットクルージングや釣り体験の奉仕活動も！

～ 例 会 風 景 ～



上勢頭 保 パスト会長
卓話ありがとうございました。



イタリアミラノロータークラブ 2011-12 年度会長
グラジェラ ガレアッソ (Graziella Galeasso) 母娘と交流をして来ました。

於：Club Med 石垣島・730 交差点



日本は 6 回目 初めての沖縄・石垣島の滞在 8 月 12 日・13 日にお会いすることができましたイタリアミラノ RC グラジェラ ガレアッソ (Graziella Galeasso) さんと娘アレ (Ale) さん いつか当クラブとミラノ RC との交流の実現も！



本日のニコニコ：

- ☆宮城早人会長：上勢頭パスト会長、誠に素晴らしい卓話ありがとうございました。今後も、色々な卓話宜しくお願いします。
- ☆新里裕樹幹事：上勢頭さん、卓話ありがとうございました。
- ☆仁開一夫氏：上勢頭先輩、卓話有難ございました。
- ☆宮良榮子氏：上勢頭さん、国際ヨットレースの卓話に感謝。お疲れ様でした。
- ☆橋本孝来氏：上勢頭さん卓話ありがとうございました。
- ☆今西敦之氏：残暑お見舞い申し上げます。上勢頭パスト会長、本日の卓話よろしくお願い致します。
- ☆新垣精二氏：上勢頭さん、ヨットの話し、楽しみにしています。
- ☆今西敦之氏：上勢頭パスト会長、卓話ありがとうございました。ヨットは興味ありますが、船酔いが心配です。
- ☆松尾和彦氏：上勢頭さん、卓話ありがとうございました。プログラム委員会飲み会お釣りで。
- ☆7 月 31 日会食のお釣りをニコニコします。宮城早人・前原博一・今西敦之・大田次男・宮良薫・南波正幸・新里裕樹

◆BOX18,330(累計¥81,600 円) ◆コイン¥2,851 (累計¥7,839) 合計¥89,439

